

2017
夏号

ハートネット かずさのみち

よつばちゃん
市社協イメージキャラクター

【発行】ちはら台地区社会福祉協議会 〒290-0142 市原市ちはら台南6-2 電話(Fax) 0436-37-1326

地域福祉の向上に向けた新たな第一歩

ちはら台地区社会福祉協議会 会長 齊尾 誠治



平素よりちはら台地区社会福祉協議会の活動にご支援とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

この度、平成29年度総会において会長職に選任され約4ヶ月が経過しました。まだまだ不慣れでございますが、地域福祉の向上のために努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、そろそろ敬老会開催の時も近くなってきました。今年は、10月1日（日）4小学校区同時に開催されます。現在、実行委員会を中心となり印象に残る敬老会にしようと頑張っています。多くの皆様の参加をお待ちしております。

ところで、市原市は新たな敬老事業として来年度より日常的な地域交流の機会づくりとして「通いの場」を推進していく予定です。

そこで、ちはら台地区社協では先行して今年度から「健康サロン」の開催を支援し、身近な地域での交流活動を促進することにより来年度からの「通いの場」づくりに継続してまいります。

また、市原市によると2025年には約3人に1人が高齢者となり、要介護・要支援者数は現在の倍近くまで増加し、2万人を突破するとともに、高齢者のみの世帯が増加するとの報告があります。

このような中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい人生を全うできる社会を目指して、2025年をめどに整備が進められているのが地域包括ケアシステムです。ちはら台地区における地域包括ケアシステムをどのように作り上げて行くか今後の大きな課題であります。

この度、ちはら台における地域包括ケアを推し進める企画として、11月23日「ちはら台医療と介護の集い」を開催いたします。

住民の皆様、是非ご参加下さい。

これからも、人と人との交流を大切にし、地域みんなでお互いに助け合い、支え合い、一人ひとりが住みなれた地域で安心して、生き生きと生活できる地域づくりを目指してまいります。

皆様の温かいご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

ちはら台地区社会福祉協議会 各部会活動事業紹介



高齢者支援部会

茶話会「憩いの広場」は毎月第1木曜日コミュニティセンターにて
談話食事会「ふれあいサロン」は毎月第3木曜日に開催しています。
地域高齢者のコミュニケーションを図り健康増進と生きがいづくり
を推進するとともに地域での孤立化を防止する活動を行っています。

障がい者支援部会

障がい者と健常者が一堂に集いバリアフリースポーツ、
ミニコンサート、野外活動を通じて障害者的心と体の
健康維持・向上を図ります。



「虹の会」…ボッチャで健康増進 汗を流しミニコンサートで和やかな時間を過ごす
「ちはら台ボッチャクラブ」…スポーツで健康増進を図り、かつ相互の交流を進める
小学生から高齢者までの障がい者が多様なバリアフリースポーツを楽しみ、ご家族も交流する
喜びと感動のコミュニティづくりを目指しています。

広い体育室は障がい児の力を引き出し笑顔で自由にプレイし沢山の汗を流す。
野外用車椅子で海辺の自然に触れる。さあ、参加してみませんか！



児童支援部会

子育て中の親子が自由に参加し相互に交流をはかれる一場の提供。
子育て相談、支援並びに情報の提供をします。

「子育て広場」…毎月第2木曜日 10時～11時半コミュニティセンター
「すまいる」…毎日平日10時～12時半（学校の休日に準じる）水の江小学校
「広場のびのび」…毎月第1・3月曜日10時～11時半コミュニティセンター



未就学児を子育て中のお母さん、どうぞ遊びに来てください！
それぞれ特色のある切れ目のない子育て支援を利用して、
楽しい子育てをしてくださいね。



小域福祉ネット部会

今年度は、市原市主催として10月1日開催予定の敬老会を、自治会連合会、民児協の皆様の協力を頂き第一回目に取り組みます。また、市原市として敬老者への今後の重点取組となる「より小域での通いの場作り」の基盤つくりに取り組みます。



見守り支援部会

孤独な高齢者および障がい者が安心して生活出来るように定期的に訪問します。

生活上の問題点を把握し関係する機関へつなぎます。

現在、見守り部会では28名のボランティアによる見守り隊員が訪問しお話しさせて頂いています。訪問された方からは「たいへん嬉しい」と言ってくださっています。

どうか皆さん独りぼっちにならず、また家に閉じこもらず、ちはら台社協が行っている高齢者の昼食会（サロン）、茶話会などに参加しましょう。

そのためのお手伝いを見守り部会は協力しています。行政（市）は、できるだけ介護生活に入らないよう自助・共助・近助（所）の力を強調してきています。

皆で健康で楽しい生活を送っていきましょう。

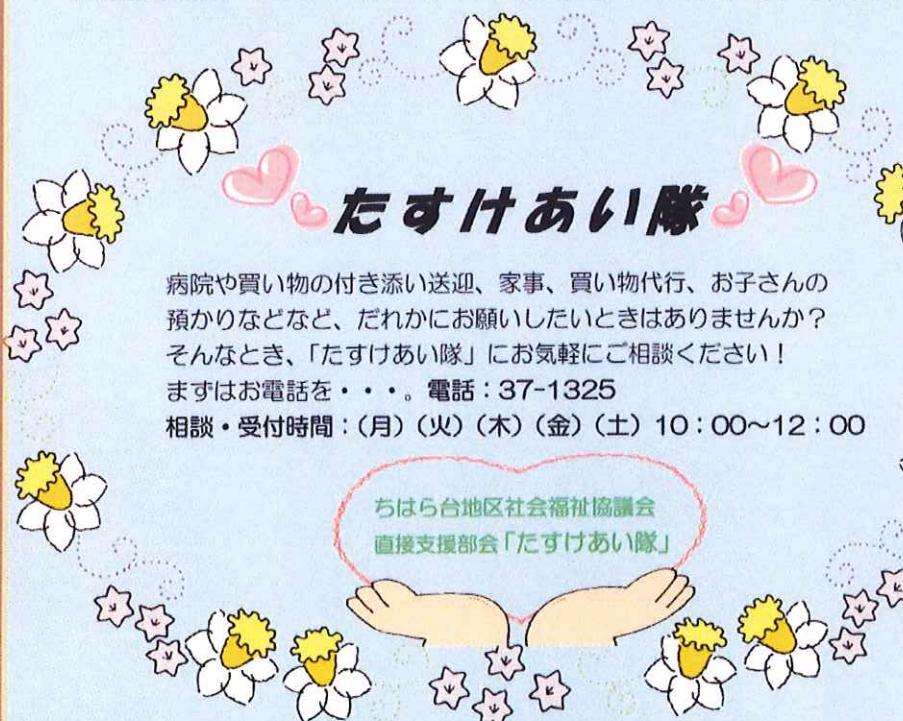


直接支援部会

ちはら台住民が互いに助け合うコーディネイトをします。

相談者・利用者の日常の困りごとを傾聴し支援者とともに対応します。

直接支援者（ボランティア）の募集をするとともに講習会・研修会なども行っています。



**「たすけあい隊」
受付日変更のお知らせ
9月より相談窓口の受付
日が変更になります。**

受付時間 10:00~12:00

月	火	水	木	金	土	日
○	○	×	○	○	○	×

水・日・祝日はお休み

お問い合わせ
電話 37-1325

福祉をもっと身近なものに・・・

知っておきたい、知ってほしいが満載！！

ちはら台 医療と介護の集い

オープニング

10:30~11:00

「市原市が目指す地域包括ケアシステムについて」

市原市保健福祉部保健福祉課 課長 鶴岡弘章 氏

第1部

相談・体験コーナー

11:00~13:00



家族に介護が必要になった時、また自分がいつまでも自立した生活をするために、気軽に相談・体験してみませんか？

介護食の試食・福祉用具の体験（車いす、介護ベッド）・介護事業所・施設紹介など



日時：11月23日(祝) 入場無料

場所：ちはら台コミュニティセンター2階

第2部

コラボ☆ラボ in ちはら台

14:00~16:30

要申込・見学可



住み慣れた地域で人生の最期まで暮らすには何が必要？

地域の健康や医療、介護について、行政や医療・介護従事者と地域住民、個人が様々な立場での現状と理想を声にすることで、これから行動に何が必要で、何ができるのかを考えてみましょう。気軽に話し合いをしませんか？

講師：井階友貴(いかいともき) 福井大学医学部地域プライマリケア講座 講師

2005年滋賀医科大学卒業後、研修医として滋賀県の済生会病院に勤務。2009年より福井大学医学部地域プライマリケア講座に所属。住民・行政・医療が一体となった地域医療を追求し、医学教育や住民啓発に奮闘中。日本内科学会認定医、日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医・指導医、日本在宅医学会認定在宅医療専門医・指導医

主催：ちはら台地区社会福祉協議会 (TEL/FAX 0436-37-1326) ☐ chi-shakyou@forest.ocn.ne.jp

共催：地域包括ケアを考える会☆ちはら台

協力：ちはら台地区自治会連合会・ちはら台地区民生委員児童委員協議会・ちはら台シニアクラブ連合会

NPO法人ちはら台コミュニティセンター運営協議会

後援：市原市・市原市社会福祉協議会

*プログラムの内容は予告なく変更することがあります。